

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【愛媛県八幡浜市】

学校名【八幡浜市立江戸岡小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV (V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生 (21人) 5年生 (18人) 6年生 (35人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	〇スポーツ、特に運動の基本となる走ることの楽しさを感じたり、健康を維持していく上での効果を理解したりして、スポーツのよさを味わったり、生涯にわたり、スポーツに親しもうとする子どもを育てる。
5 取組内容	<p>【事前指導】</p> <p>「パラリンピックについて知ろう」(6年生のみ実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇パラリンピックに関するクイズを行う。 〇パラリンピアンが持つ価値について話し合う。 〇パラリンピックに関するクイズを作る。 <p>【オリンピックから学ぼう】</p> <p>日時：12月10日(木) 13:40~15:30</p> <p>内容：①講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐氏の子ども時代のエピソード ・オリンピックや世界陸上に出場された際のエピソード ・子ども時代に大切なこと <p>②実技指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り方(ウォーミングアップの行い方)



	<p>【事後指導】</p> <p>○ふり返りの共有 (ある児童の感想)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>土佐さんの話を聞いて印象に残った言葉は、「プレッシャーがうれしい」という言葉です。不安があってもみんなの期待に応えたいという思いが強かったと話されました。私はプレッシャーに負けそうなときに、この言葉を思い出し、何事も楽しみながらやっていきたいです。そして、来年東京オリンピックが開催されたら、日本選手を応援したいなと思いました。</p> </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>○元オリンピック選手の講演を聞き、困難にどう向き合うかという姿勢や、努力の大切さなど、スポーツを通して鍛えられるべきことを確認することができた。</p> <p>○元オリンピック選手による実技指導を通して、走る際に肩甲骨を使うことの大切さやそれを上手く使えるようにするためのウォーミングアップの仕方など、すぐに実践できる簡単な運動例を知ることができた。</p> <p>○6年生については、パラリンピックの歴史や意義、選手や競技に関するクイズを答えたり、クイズ作りを行ったりしたことで、パラリンピックに対する関心を持ち、共生社会の大切さについて考えることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○6年生の総合的な学習の時間のテーマが「共に生きる」となっており、共生社会について考える一つの場面として、パラリンピックについての学習を取り入れ、関連を図ったこと。</p> <p>○講演の際に、土佐氏を知らない世代の児童に対して、少しでも関心を持たせるために、土佐氏に映像資料を用意していただいたこと。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○事前・事後の指導をより計画的に行うこと。</p> <p>○今回は、オリンピックを講師にお招きするという一方で、事前指導はパラリンピックに目を向けさせようとしたが、オリンピックについてや、講師の土佐氏についてもっと興味を持たせておく必要も感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○土佐氏に教えていただいた基本運動は、体育の授業や放課後の運動部の練習に生かしていく。</p> <p>○東京オリンピックの開催に向けて、情報提供等を学級の話題に出して、今後もオリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高めていく。</p>